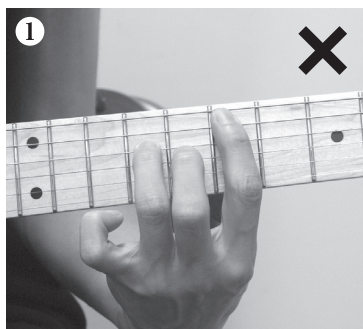


注意点1



パワー・コードは人差指&小指で押さえよう

パワー・コードは、メタル・リフにも頻繁に使われるので、激しいポジション移動でも押弦フォームが崩れない押さえ方をマスターする必要がある。まず初心者が多い人差指&薬指で押さえるパターン(写真①)はオススメできない。これでは薬指と小指が変に力んでしまい、薬指が押さえている弦を下方方向に引っ張る危険が生じるからだ。また余弦のミュートもできない。そこで筆者は、人差指と小指を用いたフォーム(写真②)をオススメしたい。これなら中指&薬指を使って6弦を、小指&人差指の付け根を使って高音弦をミュートできる。さらに力まずに押弦できるので、スムーズにポジション移動ができるはずだ。



① 初心者が多い人差指と薬指を使う押さえ方。ノイズ対策が難しく、力みやすいので安定性に欠ける。



② 人差指と小指による押さえ方。余弦のミュートがしやすく、無駄な力みも少ないのでオススメだ。

注意点2

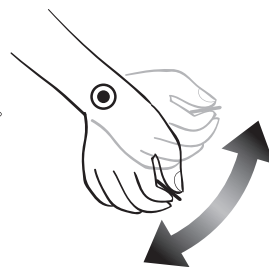
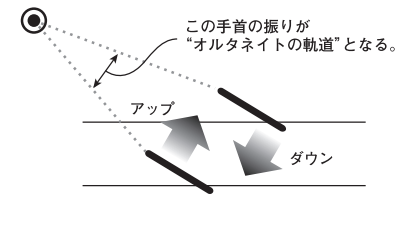


弦に対して少し角度を付けてピッキングしよう

メタルだけではなく、あらゆるジャンルで登場するオルタネイト・ピッキングは、いかに無駄の少ない動きで弾けるかということがポイントになってくる。特に速弾きに適した高速オルタネイト・ピッキングを行なうためには、手首を支点にして(この時に若干スナップを効かせる)、弦に対して少し角度を付けてピッキングすると良いだろう(図1)。“ピックは弦に対して平行に当てる”という話をよく耳にするが、これはあくまでピッキングの角度をつけ過ぎないようにという意味だ。若干角度をつけて弾いた方が、自然に弾けるだろう。

図1 無駄の少ない高速オルタネイト・ピッキング

右手手首の支点



手首を支点にすると動きがコンパクトになる。

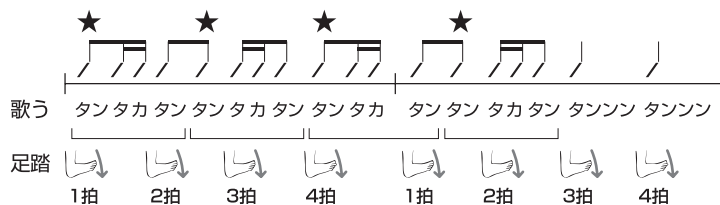
注意点3



1 拍半のリズムを身体に覚え込ませよう

このリフは、少々リズムが複雑に感じられるが、実は1拍半のリズムをくり返しているだけだ。つまり“タンタカタン”というリズムを4回くり返すと考えればよい。ただし、それぞれのスタートする音が、1回目:オモテ、2回目:ウラ、3回目:オモテ、4回目:ウラと、リズムが交互にズレていくので注意が必要だ。タイミングのズレを防ぐため、リズムを足で取りながら、リズムのオモテとウラを感じる練習をするとうまい(図2)。4拍子のアタマを足踏みしながら、口でリズムを歌ってみよう。口で歌えないものは、弾けないのと同じこと。大切なのはリズム感なので、頭で理解したことを右手に伝えられるようになる。

図2 1拍半のリズムの取り方



★は、1拍半のリズムがスタートする音。